**令和　年度　商業科「簿記」　年間指導計画案**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 教科 | 商業 | 科目 | 簿記 |
| 学科・学年 |  | 単位数 | ２～４ |
| 教科書  副教材 | 簿記（TAC　商業234－902） | | |
| 科目の目標 | 商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  （１）簿記について実務に即して体系的・系統的に学習するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。  （２）取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。  （３）企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び，適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 評価の方法 | ・定期テスト  ・小テスト  ・レポート | ・定期テスト  ・小テスト  ・レポート  ・観察（学習状況，発表など）  ・学習の振り返り | ・観察（学習状況，発表など）  ・学習の振り返り |
| 趣旨 | ・簿記に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、その仕組みについて学習するとともに、適正な会計処理を行う技術を身につけている。 | ・適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わるものとして、適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。 | ・簿記について関心を持ち、適正な会計処理を行うことをめざして主体的に取り組む態度をもち、会計処理を行う実践的な態度を身につけている。 |

**各学期の学習指導計画**

| **項目・単元** | **月** | **配当**  **時数** | **学習内容** | **学習のねらい** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 第１編 簿記の基礎  第１章　簿記の基礎 | ４ | ２ | 1 簿記とは  2 簿記の目的  3 簿記の種類  4 簿記の歴史  5 簿記の前提条件 | ・企業における簿記の必要性と意義、目的、種類、歴史と簿記の前提条件について学習する。 |
| 第２章　資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表 | ４ | ４ | 1 簿記の５要素  2 資産とは  3 負債とは  4 純資産（資本）とは  5 貸借対照表  6 純資産の増減から当期純損益を計算する方法 | ・簿記の５要素と、資産・負債・純資産について学習する。  ・貸借対照表の概要と作成方法を学習する  ・貸借対照表等式により、資産・負債・純資産の関係性を学習する。  ・1年間の取引の結果として、資産・負債・純資産が増減することで、期首・期末の財政状態に変動が生じ、その差額が純損益となることを学習する。 |
| 第３章　収益・費用と損益計算書 | ４ | ３ | 1 収益とは  2 費用とは  3 収益と費用の差額から当期純損益を計算する方法  4 損益計算書 | ・簿記の５要素と、収益・費用について学習する。  ・損益計算書の概要と作成方法を学習する  ・損益計算書等式により、収益と費用の関係性を学習する。  ・純損益を通じた貸借対照表と損益計算書の関係性について学習する。 |
| 第４章　取引と勘定 | ５ | ３ | 1 簿記上の取引  2 勘定  3 勘定記入の法則  4 取引の２面性  5 貸借平均の原理 | ・簿記の上の取引について学習する。  ・取引によって資産・負債・純資産が増減し、収益・費用が発生することを学習する。  ・勘定と勘定科目、勘定口座、勘定記入の法則について学習する。  ・取引の２面性について学習し、取引を分解して勘定に記入する方法を身につける。  ・貸借平均の原理について学習する。 |
| 第５章　仕訳と転記 | ５ | ４ | 1 仕訳  2 転記 | ・仕訳の意味について学習し、仕訳の手順を身につける。  ・転記の意味について学習し、転記の方法を身につける。 |
| 第６章　仕訳帳と総勘定元帳 | ５ | ２ | 1 帳簿への記帳  2 仕訳帳への記入  3 総勘定元帳への転記  4 残高式の総勘定元帳の場合 | ・仕訳帳の意味と形式を学習し、記入方法を身につける。  ・総勘定元帳の意味と形式を学習し、仕訳帳から総勘定元帳への転記方法を身につける。 |
| 第７章　試算表の作成 | ５ | ２ | 1 試算表とは  2 試算表の種類と作り方  3 転記の正確性の検証 | ・試算表の意味と種類とそれぞれの特徴について学習し、記入方法を身につける。  ・試算表の役割として転記の正確性の検証ができることを学習する。 |
| 第８章　精算表 | ５ | ２ | 1 精算表  2 ６桁精算表の記入方法 | ・精算表の意味と種類を学習する  ・６桁精算表の記入方法を身につける。 |
| 第９章　決算 | ６ | ５ | 1 決算とは  2 決算の手続き  3 決算の本手続き－仕訳帳の締め切り  4 決算の本手続き－総勘定元帳の締め切り  5 決算の本手続き－繰越試算表の作成  6 決算の本手続き－仕訳帳の開始記入  7 決算の報告 | ・決算の意義と用語、一連の流れについて学習する。  ・仕訳帳の締め切り・総勘定元帳の締め切り・繰越試算表の作成からなる決算の本手続きの流れについて学習し、それぞれの記入方法を身につける。  ・決算の報告として、貸借対照表と損益計算書の作成方法を身につける。 |
| 第10章　会計帳簿 | ６ | ２ | 1 主要簿と補助簿  2 分課制度と帳簿組織 | ・主要簿と補助簿の意義と種類について学習する。  ・分課制度と帳簿組織について学習する。 |
| 第２編 取引の記帳（その１）  第11章　現金と預金の取引（その１） | ６ | ６ | 1 現金  2 現金出納帳  3 当座預金  4当座預金出納帳  5その他の預金  6小口現金  7小口現金出納帳 | ・現金として取り扱われるものについて学習し、その処理方法と現金出納帳の記帳方法を身につける  ・当座預金、その他の預金の意味を学習し、処理方法と当座預金出納帳の記帳方法を身につける。  ・小口現金の仕組みを学習し、処理方法と小口現金出納帳の記帳方法を身につける。 |
| 第12章　商品売買の取引 | 7 | 5 | 1 ３分法  2 仕入帳  3 売上帳  4 商品有高帳 | ・分記法との違いを意識しながら、3分法における商品売買の処理方法を学習する。  ・仕入帳、売上帳の役割と形式を学習し、記帳方法を身につける。  ・商品有高帳の記帳方法(先入先出法と移動平均法)を身につける。 |
| 第13章　掛け取引 | ７ | ３ | 1 掛けによる売買  2 売掛金と売掛金元帳  3 買掛金と買掛金元帳  4 貸し倒れ | ・掛けによる売買の意味と処理方法を学習し、売掛金元帳・買掛金元帳の役割・形式と記帳方法を身につける。  ・貸し倒れの意味を学習し、処理方法を身につける。 |
| 第14章　その他の債権・債務（その１） | ９ | ５ | 1 貸付金と借入金  2 前払金と前受金  3 未収入金と未払金  4 立替金と預り金  5 仮払金と仮受金 | ・掛け取引・手形取引以外の以下の債権・債務について、意味を学習し、処理方法を身につける。  貸付金と借入金、前払金と前受金、未収入金と未払金、立替金と預り金、仮払金と仮受金 |
| 第15章　固定資産の取引（その１） | ９ | ３ | 1 固定資産  2 固定資産の購入  3 固定資産台帳（その１） | ・固定資産の意味と種類を学習する。  ・固定資産の購入時の処理方法を身につける。  ・固定資産台帳の役割と形式を学習し、記入方法を身につける。 |
| 第16章　販売費及び一般管理費 | ９ | ２ | 1 販売費及び一般管理費とは  2 販売費及び一般管理費の記帳方法 | ・販売費及び一般管理費の意味と種類を学習し、処理方法を身につける。  ・販売費及び一般管理費元帳の役割と形式を学習し、記入方法を身につける。 |
| 第３編 決算（その１）  第17章　決算整理（その１） | 10 | ９ | 1 決算整理  2 売上原価の計算  3 貸倒引当金の見積もり  4 固定資産の減価償却  5 棚卸表 | ・以下の決算整理の意味と必要性を学習し、処理方法を身につける。  売上原価の計算、貸倒引当金の見積もり、固定資産の減価償却（定額法、直接法）  ・棚卸表の役割と形式を学習し、記入方法を身につける。 |
| 第18章　８桁精算表 | 10 | ３ | 1 ８桁精算表とは  2 ８桁精算表の記入方法 | ・８桁精算表の意味と役割、形式を学習する。  ・８桁精算表の記入方法を身につける。 |
| 第19章　帳簿決算 | 10 | ５ | 1 帳簿決算  2 財務諸表の作成 | ・帳簿決算の意味と手順を学習する。  ・仕訳帳の締め切り、総勘定元帳の締め切り、繰越試算表の作成についてその記入方法を身につける。  ・財務諸表の作成方法を身につける。 |
| 第４編 伝票と会計ソフトウェア  第20章　伝票式会計と会計ソフトウェア | 11 | ７ | 1 証ひょう  2 伝票とは  3 ３伝票制  4 伝票から総勘定元帳への転記  5 会計ソフトウェアの活用  6 会計ソフトウェアの表示例 | ・証ひょうと伝票の意味と種類、形式を学習する。  ・伝票の記入方法と総勘定元帳への転記方法を身につける。  ・コンピュータ会計の意義と、利点等について学習する。  ・コンピュータ会計の基礎的な活用方法について身につける。 |
| 第5編 取引の記帳（その２）  第21 章　現金と預金の取引（その２） | 11 | ３ | 1 現金過不足の処理  2 当座借越 | ・現金過不足および当座借越の意味を理解し、処理方法を身につける。 |
| 第22 章　その他の債権・債務（その２） | 11 | 4 | 1 クレジット売掛金  2 電子記録債権・電子記録債務  3 受取商品券 | ・クレジット売掛金の意味と仕組みを学習し、処理方法を身につける。  ・電子記録債権・債務の意味と仕組みを学習し、処理方法を身につける。  ・受取商品券の意味と仕組みを学習し、処理方法を身につける。 |
| 第23章　手形 | 12 | 5 | 1 手形の種類  2 約束手形  3 約束手形の処理  4 手形の裏書き  5 手形の割り引き  6 受取手形記入帳と支払手形記入帳 | ・約束手形と為替手形の違いを学習し、約束手形の処理方法と受取手形記入帳と支払手形記入帳の記帳方法を身につける。  ・手形の裏書きと割り引きの意味を学習し、処理方法を身につける。 |
| 第24 章　特殊な手形の取引 | 12 | 6 | 1 手形の書き換え  2 手形の不渡り  3 保証債務  4 営業外受取手形・営業外支払手形  5 手形貸付金と手形借入金 | ・第23章で学習した手形の処理を復習し、以下の手形に関する取引の意味と仕組みを学習し、それぞれの処理方法を身につける。  手形の書き換え、手形の不渡り、保証債務、営業外受取手形・営業外支払手形、手形貸付金・手形借入金 |
| 第25章　有価証券 | 12 | 3 | 1 有価証券  2 有価証券の購入  3 有価証券の売却 | ・株式と公社債の意味を学習し、購入時と売却時の処理方法を身につける。 |
| 第26章　固定資産の取引（その２） | 1 | 2 | 1 固定資産の売却（直接法）  2 期中に固定資産を売却したとき  3 固定資産台帳（その２） | ・第15章で学習した固定資産の処理を復習し、固定資産売却時の処理方法を身につける。 |
| 第27章　純資産（資本）の取引と事業主個人の税金 | 1 | 4 | 1 資本の元入れ・追加元入れ  2 資本の引き出し  3 所得税と住民税 | ・個人企業における純資産の増加と減少について、その意味と処理方法について学習する（元入れ、追加元入れ、引き出し）。  ・事業主個人に課される税金について、その意味と処理方法を学習する。 |
| 第28章　個人企業の税金 | 1 | 2 | 1 事業税  2 固定資産税  3 印紙税  4 消費税 | ・個人企業に課される以下の税金について、意味を学習し、処理方法を身につける。  事業税、固定資産税、印紙税、消費税 |
| 第6編 決算（その２）  第29 章　決算整理（その２） | 1 | 9 | 1 費用・収益の繰り延べと見越し  2 消耗品費の整理  3 貯蔵品勘定への振り替え  4 当座借越勘定への振り替え  5 有価証券の評価替え  6 固定資産の減価償却（間接法・定率法） | ・以下の決算整理の意味と必要性を学習し、処理方法を身につける。  費用・収益の繰り延べと見越し、消耗品費の整理、貯蔵品勘定への振り替え、当座借越勘定への振り替え、有価証券の評価替え、固定資産の減価償却（間接法・定率法） |
| 第30 章　精算表と財務諸表の作成 | 2 | 6 | 1 第29章までの決算整理のまとめ  2損益計算書と貸借対照表 | ・精算表の作成を通じて第17章と第29章で学習した決算整理を復習し、決算の意義と仕組みを確実に学習する。  ・損益計算書と貸借対照表の仕組みを学習し、作成方法を身につける。 |
| 第７編 本支店会計  第31 章　本支店会計－本支店間の取引 | 2 | 4 | 1 本支店会計  2 本支店間取引の記帳  3 支店間取引の記帳 | ・支店会計の独立の意味について学習する。  ・本支店間取引と支店間取引の仕組みを学習し、記帳方法を身につける。 |
| 第32 章　本支店会計－合併財務諸表 | 2 | 6 | 1 本支店合併財務諸表とは  2 本支店合併財務諸表の作成手順  3 合併後の貸借対照表と損益計算書の作成 | ・本支店の貸借対照表と損益計算書を合併する意義と必要性、手続きを学習する。  ・合併財務諸表の作成方法を身につける。 |
| 発 展 株式会社の取引  第33 章　株式会社の会計処理 | 3 | 6 | 1 株式会社とは  2 株式会社の純資産（資本）  3 設立時の株式の発行  4 増資時の株式の発行  5 当期純利益の繰越利益剰余金勘定への振り替え  6 剰余金の配当と処分 | ・株式会社の仕組みを個人企業と比較しながら学習する。  ・株式会社設立時、増資時の流れを学習し、処理方法を身につける。  ・株式会社における当期純利益（当期純損失）計上の流れを学習し、処理方法を身につける。  ・繰越利益剰余金の配当と処分の概要と流れを学習し、処理方法を身につける。 |
| 第34 章　株式会社の税金 | 3 | 3 | 1 株式会社の税金 | ・株式会社に課せられる税金の種類とそれぞれの意味を学習する。  ・法人税・住民税・事業税の納付の流れを学習し、処理方法を身につける。 |

**年間指導計画にもとづく評価規準例**

| **項目・単元** | **学習内容** | **評価の観点** | | |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **知識・技術** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| 第１編 簿記の基礎  第１章　簿記の基礎 | ・企業における簿記の必要性と意義、目的、種類、歴史と簿記の前提条件について学習する。 | 簿記の必要性と意義、目的、歴史等について理解しているとともに，関連する技術を身に付けている。 | 簿記の必要性と意義、目的、歴史等について、企業活動の展開と関連付けて見いだしている。 | 簿記の必要性と意義、目的、歴史等について自ら学び、適正な取引の記録と記録の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第２章　資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表 | ・簿記の５要素と、資産・負債・純資産について学習する。  ・貸借対照表の概要と作成方法を学習する  ・貸借対照表等式により、資産・負債・純資産の関係性を学習する。  ・1年間の取引の結果として、資産・負債・純資産が増減することで、期首・期末の財政状態に変動が生じ、その差額が純損益となることを学習する。 | 貸借対照表の原理について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 貸借対照表の意義について，企業活動の展開と関連付けて見いだしている。 | 貸借対照表の原理について自ら学び，適正な取引の記録と記録の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第３章　収益・費用と損益計算書 | ・簿記の５要素と、収益・費用について学習する。  ・損益計算書の概要と作成方法を学習する。  ・損益計算書等式により、収益と費用の関係性を学習する。  ・純損益を通じた貸借対照表と損益計算書の関係性について学習する。 | 損益計算書の原理について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 損益計算書の意義について，企業活動の展開と関連付けて見いだしている。 | 損益計算書の原理について自ら学び，適正な取引の記録と記録の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第４章　取引と勘定 | ・簿記の上の取引について学習する。  ・取引によって資産・負債・純資産が増減し、収益・費用が発生することを学習する。  ・勘定と勘定科目、勘定口座、勘定記入の法則について学習する。  ・取引の２面性について学習し、取引を分解して勘定に記入する方法を身につける。  ・貸借平均の原理について学習する。 | 取引と勘定の原理について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 取引と勘定の意義について，企業活動の展開と関連付けて見いだしている。 | 取引と勘定の原理について自ら学び，適正な取引の記録と記録の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第５章　仕訳と転記 | ・仕訳の意味について学習し、仕訳の手順を身につける。  ・転記の意味について学習し、転記の方法を身につける。 | 仕訳と転記の原理について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 仕訳と転記の意義について，企業活動の展開と関連付けて見いだしている。 | 仕訳と転記の原理について自ら学び，適正な取引の記録と記録の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第６章　仕訳帳と総勘定元帳 | ・仕訳帳の意味と形式を学習し、記入方法を身につける。  ・総勘定元帳の意味と形式を学習し、仕訳帳から総勘定元帳への転記方法を身につける。 | 仕訳帳と総勘定元帳の原理について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 仕訳帳と総勘定元帳の意義について，企業活動の展開と関連付けて見いだしている。 | 仕訳帳と総勘定元帳の原理について自ら学び，適正な取引の記録と記録の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第７章　試算表の作成 | ・試算表の意味と種類とそれぞれの特徴について学習し、記入方法を身につける。  ・試算表の役割として転記の正確性の検証ができることを学習する。 | 試算表の原理について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 試算表の意義について，企業活動の展開と関連付けて見いだしている。 | 試算表の原理について自ら学び，適正な取引の記録と記録の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第８章　精算表 | ・精算表の意味と種類を学習する  ・６桁精算表の記入方法を身につける。 | 精算表の原理について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 精算表の意義について，企業活動の展開と関連付けて見いだしている。 | 精算表の原理について自ら学び，適正な取引の記録と記録の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第９章　決算 | ・決算の意義と用語、一連の流れについて学習する。  ・仕訳帳の締め切り・総勘定元帳の締め切り・繰越試算表の作成からなる決算の本手続きの流れについて学習し、それぞれの記入方法を身につける。  ・決算の報告として、貸借対照表と損益計算書の作成方法を身につける。 | 決算について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに，関連する技術を身に付けている。 | 決算の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 決算について自ら学び、適正な決算整理と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第10章　会計帳簿 | ・主要簿と補助簿の意義と種類について学習する。  ・分課制度と帳簿組織について学習する。 | 会計帳簿の原理について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 会計帳簿の意義について，企業活動の展開と関連付けて見いだしている。 | 会計帳簿の原理について自ら学び，適正な取引の記録と記録の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第２編 取引の記帳（その１）  第11章　現金と預金の取引（その１） | ・現金として取り扱われるものについて学習し、その処理方法と現金出納帳の記帳方法を身につける  ・当座預金、その他の預金の意味を学習し、処理方法と当座預金出納帳の記帳方法を身につける。  ・小口現金の仕組みを学習し、処理方法と小口現金出納帳の記帳方法を身につける。 | 現金預金の取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 現金預金の取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 現金預金の取引の記帳について自ら学び，適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第12章　商品売買の取引 | ・分記法との違いを意識しながら、3分法における商品売買の処理方法を学習する。  ・仕入帳、売上帳の役割と形式を学習し、記帳方法を身につける。  ・商品有高帳の記帳方法(先入先出法と移動平均法)を身につける。 | 商品売買の取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 商品売買の取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 商品売買の取引の記帳について自ら学び，適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第13章　掛け取引 | ・掛けによる売買の意味と処理方法を学習し、売掛金元帳・買掛金元帳の役割・形式と記帳方法を身につける。  ・貸し倒れの意味を学習し、処理方法を身につける。 | 掛け取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 掛け取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 掛け取引の記帳について自ら学び，適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第14章　その他の債権・債務（その１） | ・掛け取引・手形取引以外の以下の債権・債務について、意味を学習し、処理方法を身につける。  貸付金と借入金、前払金と前受金、未収入金と未払金、立替金と預り金、仮払金と仮受金 | 債権・債務の取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 債権・債務の取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 債権・債務の取引の記帳について自ら学び，適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第15章　固定資産の取引（その１） | ・固定資産の意味と種類を学習する。  ・固定資産の購入時の処理方法を身につける。  ・固定資産台帳の役割と形式を学習し、記入方法を身につける。 | 固定資産の取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 固定資産の取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 固定資産の取引の記帳について自ら学び，適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第16章　販売費及び一般管理費 | ・販売費及び一般管理費の意味と種類を学習し、処理方法を身につける。  ・販売費及び一般管理費元帳の役割と形式を学習し、記入方法を身につける。 | 販売費及び一般管理費の取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 販売費及び一般管理費の取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 販売費及び一般管理費の取引の記帳について自ら学び，適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第３編 決算（その１）  第17章　決算整理（その１） | ・以下の決算整理の意味と必要性を学習し、処理方法を身につける。  売上原価の計算、貸倒引当金の見積もり、固定資産の減価償却（定額法、直接法）  ・棚卸表の役割と形式を学習し、記入方法を身につける。 | 決算整理について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに，関連する技術を身に付けている。 | 決算整理の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 決算整理について自ら学び、適正な決算整理と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第18章　８桁精算表 | ・８桁精算表の意味と役割、形式を学習する。  ・８桁精算表の記入方法を身につける。 | 精算表の作成について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに，関連する技術を身に付けている。 | 精算表の作成の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 精算表の作成について自ら学び、適正な決算整理と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第19章　帳簿決算 | ・帳簿決算の意味と手順を学習する。  ・仕訳帳の締め切り、総勘定元帳の締め切り、繰越試算表の作成についてその記入方法を身につける。  ・財務諸表の作成方法を身につける。 | 帳簿決算について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに，関連する技術を身に付けている。 | 帳簿決算の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 帳簿決算について自ら学び、適正な決算整理と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第４編 伝票と会計ソフトウェア  第20 章　伝票式会計と会計ソフトウェア | ・証ひょうと伝票の意味と種類、形式を学習する。  ・伝票の記入方法と総勘定元帳への転記方法を身につける。  ・コンピュータ会計の意義と、利点等について学習する。  ・コンピュータ会計の基礎的な活用方法について身につける。 | 記帳の効率化について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに，関連する技術を身に付けている。 | 記帳の効率化の方法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 記帳の効率化について自ら学び，伝票の利用と会計ソフトウェアの効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第5編 取引の記帳（その２）  第21 章　現金と預金の取引（その２） | ・現金過不足の意味を学習し、処理方法を身につける。  ・当座借越の意味を学習し、処理方法を身につける。 | 現金過不足・当座借越の記帳について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 現金過不足・当座借越の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 現金過不足・当座借越の記帳について自ら学び，適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第22 章　その他の債権・債務（その２） | ・クレジット売掛金の意味と仕組みを学習し、処理方法を身につける。  ・電子記録債権・債務の意味と仕組みを学習し、処理方法を身につける。  ・受取商品券の意味としくみを学習し、処理方法を身につける。 | クレジット売掛金、電子記録債権・電子記録債務、受取商品券の取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | クレジット売掛金、電子記録債権・電子記録債務、受取商品券の取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | クレジット売掛金、電子記録債権・電子記録債務、受取商品券の取引の記帳について自ら学び，適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第23章　手形 | ・約束手形と為替手形の違いを学習し、約束手形の処理方法と受取手形記入帳と支払手形記入帳の記帳方法を身につける。  ・手形の裏書きと割り引きの意味を学習し、処理方法を身につける。 | 手形取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 手形取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 手形取引の記帳について自ら学び，適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第24 章　特殊な手形の取引 | ・第23章で学習した手形の処理を復習し、以下の手形に関する取引の意味と仕組みを学習し、それぞれの処理方法を身につける。  手形の書き換え、手形の不渡り、保証債務、営業外受取手形・営業外支払手形、手形貸付金･手形借入金 | 特殊な手形取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 特殊な手形取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 特殊な手形取引の記帳について自ら学び，適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第25章　有価証券 | ・株式と公社債の意味を学習し、購入時と売却時の処理方法を身につける。 | 有価証券の取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 有価証券の取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 有価証券の取引の記帳について自ら学び，適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第26 章　固定資産の取引（その２） | ・固定資産の売却について、その意味と処理方法について学習する。 | 固定資産の売却取引の記帳について理論と実務と関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 固定資産の売却取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 固定資産の売却取引の記帳について自ら学び，適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第27章　純資産（資本）の取引と事業主個人の税金 | ・個人企業における純資産の増加と減少について、その意味と処理方法について学習する（元入れ、追加元入れ、引き出し）。  ・事業主個人に課される税金について、その意味と処理方法を学習する。 | 資本の取引と事業主個人の税金の取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 資本の取引と事業主個人の税金の取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 資本の取引と事業主個人の税金の取引の記帳について自ら学び，適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第28章　個人企業の税金 | ・個人企業に課される以下の税金について、意味を学習し、処理方法を身につける。  事業税、固定資産税、印紙税、消費税 | 個人企業の税金の取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 個人企業の税金の取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 個人企業の税金の取引の記帳について自ら学び，適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第６編 決算（その２）  第29 章　決算整理（その２） | ・以下の決算整理の意味と必要性を学習し、処理方法を身につける。  費用・収益の繰り延べと見越し、消耗品費の整理、貯蔵品勘定への振り替え、当座借越勘定への振り替え、有価証券の評価替え、固定資産の減価償却（間接法・定率法） | 決算について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに，関連する技術を身に付けている。 | 決算の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 決算について自ら学び、適正な決算整理と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第30 章　精算表と財務諸表の作成 | ・精算表の作成を通じて第17章と第29章で学習した決算整理を復習し、決算の意義と仕組みを確実に学習する。  ・損益計算書と貸借対照表の仕組みを学習し、作成方法を身につける。 | 財務諸表の作成について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに，関連する技術を身に付けている。 | 財務諸表の作成の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 財務諸表の作成について自ら学び、適正な決算整理と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第７編 本支店会計  第31 章　本支店会計－本支店間の取引 | ・支店会計の独立の意味について学習する。  ・本支店間取引と支店間取引の仕組みを学習し、記帳方法を身につける。 | 本支店会計について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 本支店会計に関する取引の記録と財務諸表の合併の方法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 本支店会計について自ら学び、適正な本店・支店間取引と支店間取引の記録及び財務諸表の合併に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第32 章　本支店会計－合併財務諸表 | ・本支店の貸借対照表と損益計算書を合併する意義と必要性、手続きを学習する。  ・合併財務諸表の作成方法を身につける。 | 本支店の財務諸表の作成について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 本支店の財務諸表の作成に関する取引の記録と財務諸表の合併の方法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 本支店の財務諸表の作成について自ら学び、適正な本店・支店間取引と支店間取引の記録及び財務諸表の合併に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 発 展 株式会社の取引  第33 章　株式会社の会計処理 | ・株式会社の仕組みを個人企業と比較しながら学習する。  ・株式会社設立時、増資時の流れを学習し、処理方法を身につける。  ・株式会社における当期純利益（当期純損失）計上の流れを学習し、処理方法を身につける。  ・繰越利益剰余金の配当と処分の概要と流れを学習し、処理方法を身につける。 | 株式会社の取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 株式会社の取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 株式会社の取引の記帳について自ら学び，適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第34 章　株式会社の税金 | ・株式会社に課せられる税金の種類と意味を学習する。  ・法人税・住民税・事業税の納付の流れを学習し、処理方法を身につける。 | 株式会社の税金の取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 株式会社の税金の取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 株式会社の税金の取引の記帳について自ら学び，適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |